



「じやこまをこまに まがびへんを目標として」 地域ごとに考える美里町社会福祉協議会の 小地域福祉活動への取り組み

社会的孤立や引きこもりなど地域内にみられる課題が多様化・深刻化している現在、顔の見える範囲での住民同士の支え合い活動が改めて重要視されています。今号では、住民とともに地域の現状を見直し、地域に根付いた小地域福祉活動の実践により、支え合うまちづくりを目指す美里町社会福祉協議会（以下「美里町社協」）の「小地域福祉活動強化プロジェクト事業」を紹介いたします。

●地域と共に考える

美里町内には、16の地区社協が組織され、伝統や文化・地域性などを活かしながら住民が主体的に福祉活動に取り組んでいます。町社協が、今年4月から行っている同事業では、一般社団法人 Weibe Design 理事長の篠原辰二氏をアドバイザーに迎え、地区社協などの6エリアごとに情報交換会を実施。地域住民と地域の現状を把握することや、活動のあり方などについて共に考えながら、地区社協の機能強化と小地域福祉活



地区社協役員や地域内の関係団体などの住民が参加し、地区の良いところ、すぐに何とかしたいこと、気になっていることなど、自分の住む地区について語り合いました。

動の充実を目指しています。また、第2次美里町地域福祉活動計画の策定と連動することで、住民の声をまちづくりに反映できるよう取り組んでいます。

●語ることでつながる地域

情報交換会では、地区の強み、問題、課題などの発見により地区の現状を見つめ直して、その後行政区ごとに「どこ」「なに」が起きているかを把握し、地区の目指す姿（目標）を描いていきました。また、問題の背景を探ることで、解決のためにどうすれば良いかという具体的なアクションプランを作成しました。今後は地区ごとにさらに協議していき、より地域の福祉力の向上が期待されます。参加者からは「これまで地域について話す機会はありませんでした。今後の地域づくりのために、地域内にある他団体と継続的に協

議して行くことが必要だと感じた」との声が聞かれています。住民間で地域の現状に対する意識・目標を共有するとともに、情報交換のような語り合う場の大切さを実感できました。

●住民の思いを形に

各エリアの情報交換会で得られた地域の情報や資源、課題などは分析され、地区社協役員らが集まる報告会で情報提供しています。各エリアの情報提供をバックすることで、町内全域で情報共有が図られます。報告会では、篠原氏から分析をもとにエリアごとの特徴や課題、今後考えられる地区社協の役割、小地域活動の取り組みの視点など助言も含めた報告をいただきます。参加者からは「何となく感じていたことをこのように分析していただき感心している。すぐにできるものではないが、参考にさせていただけます」との感想が寄せられました。目に見えない地域の課題がこの事業を通して形になったことで、住民自身が地域の課題としてより身近で具体的

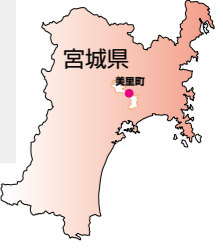


報告会の様子。参加者からも今後の取り組みに対する姿勢など、地域に対する住民の想いが伝わってきます。

●気づきからつなげる未来

「当初、地区社協からは『今ごろこういうことをするのか』との声も聞かれました。美里町社協との距離について改めて気づかされた」とお話ししてくれたのは、美里町社協の永沼威雄さん。地域について住民と共に考えることで、地域で異なる特徴や課題、必要な支援について把握できます。美里町社協では「地域の特徴と主体性を尊重しながら、住民の声を聴き寄り添うような関わり」を目指しています。住民とともに過去・現在・未来の地域を考え、地区社協の機能強化と小地域福祉活動の活性化により、支え合うまちづくりを目指す美里町社協の今後の取り組みが期待されます。（宮城県社協 地域福祉課 取材）

美里町社会福祉協議会
人口 25,273人
(平成25年4月現在)
社協データ
職員総数 20人



平成18年1月、南郷町・小牛田町合併により発足。
16地区社協を核とした小地域福祉活動を実施するなど、地域福祉推進に力を注いでいます。

キラリ★仕事人

このコーナーでは福祉の職場で働くキラリ★と光る人を紹介します

「保育士になろうと思ったきっかけはなんですか。」

中学生のときにいこの面倒をみたことがきっかけで、保育士の仕事に興味を持ちはじめました。大学卒業後、一旦は企業に就職して会社員になりましたが、諦めきれず試験を受けて、保育士になりました。

「心がけていることはありますか。」

保育にあたっては一つ一つの言動や環境づくりを大切にしています。例えば、「○○としてはダメだよ」と禁止するのではなく、子どもが自分から動きたくなくなるような言葉かけを心がけています。また複数の保育士が担当するため、統一した対応ができるように担当者どうしのコミュニケーションも大事にしています。

「やりがいを感じる瞬間は？」

保育士の仕事は結果がすぐに表れるものではありません。しかし子どもたちが主体的に行動できるような働きかけをし、それが実を結んだときは嬉しいですね。一人一人の子どもの成長を保護者と一緒に喜ぶことができる瞬間は大きなやりがいです。



今号では社会福祉法人木這子「ここのり家保育園」で保育士として働く小出圭太さんにお話を伺いました。

「一方で難しいと感じることはありますか。」

私たちの仕事には正解がないのではないかと思います。その都度、子どもにとって一番よい方法だと思って保育をしています。振り返ったときにそれが本当によかったのか、他にもっとよい対応があったのではないかと考えることがあります。

「リフレッシュ方法は？」

食へることが好きで、休みの日はラーメンの食べ歩きをしています。

「保育士を目指す方に一言！」

保育士は喜びや楽しさだけでなく、悲しみや悔しさも子ども・保護者と共有し、一緒に成長していける魅力のある仕事です。子どもの成長に関わるため大きな責任を伴いますが、その分返ってくる喜びは大きなものです。

http://www.fukushihoken.co.jp
ふくしの保険 検索 保険料試算ができます

全社協 保育所のためのしせつの損害補償

有利な補償と割安な保険料です

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営している認可保育所です。

プラン1 保育所業務のための補償

- ①基本補償
- オプション1 訪問・相談等サービス補償
- ②個人情報漏えい対応補償
- ③保育所の什器・備品損害補償

必要な補償を3つのプランでご用意しました

プラン1-①	補償額	年額保険料
対人賠償(1名・1事故)	1億・7億円	園児1~50人 17,300~22,700円
対物賠償(1事故)	1,000万円	園児51~100人 23,900~29,300円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	園児101人 30,500~35,300円
うち 現金補償限度額(期間中)	20万円	園児150人 35,300円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	加入例
初期対応費用(期間中)	500万円	園児50人 保険料22,700円
見舞費用(期間中)	10万円	園児100人 保険料29,300円

プラン2 保育所利用者のための補償

- ②園児の傷害事故補償
- 地域子育て支援拠点事業等参加者傷害事故補償
- ③園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン2-②	補償額(1口あたり)	年間保険料
死亡保険金	103万円	1名/1口あたり 530円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の3~100%	加入例(1口加入)
入院保険金(1日あたり)	800円	園児60人 31,800円
手術保険金	8,000円・16,000円・32,000円	園児80人 42,400円
通院保険金(1日あたり)	500円	園児100人 53,000円

プラン3 保育所職員のための補償

- ①保育所の労災上乗せ補償
- ②保育所職員の傷害事故補償
- ③保育所職員の感染症罹患事故補償

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

社会福祉法人 **全国社会福祉協議会** (引受幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン

株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763